



年 組 名前

道新でワークシート

子ども食堂 全国2千カ所突破

子ども食堂が全国で2千カ所を超えたことが分かりました。

Q 子ども食堂とは何ですか。



A 地域の子どもたちに、無料または低額で食事を提供する食堂のことです。例えばひとり親や共働き家庭で、1人で食事をせざるを得ない子どもや、貧困家庭で満足のいく食事を食べられない子どもが、レストランなどに行くことは難しいです。子どもが1人でも安心して行けるのが子ども食堂で、温かいご飯を食べられ、居場所も得られます。

Q どんな人たちが運営しているの。

A 子ども食堂を始めるのに特別な資格は必要なく、ボランティア活動として広がっています。NPOが母体となり開いているところもあれば、主婦が仲間と開いているところもあり、担い手はさまざまです。開催は毎日ではなく、月に数回など

世代間、地域交流の場にも

運営側が決めた頻度でやっている食堂が多いです。場所も公民館やお寺、休業日の飲食店などいろいろです。

Q たくさんの子ども食堂があるんですね。

A 支援団体が今年1〜3月、初めて全国的な実態調査をしました。各都道府県の社会福祉協議会や、独自のネットワークなどを通じて集計した結果、47都道府県全てに存在し、少なくとも計2286カ所あることが分かりました。一部の食堂の利用者数から計算して、年間利用者数は100万人以上ではないかと推測しています。

Q 子どもしか利用できないのですか。

A 最近では高齢者や子どもの保護者など、大人も利用できる食堂も増えていますが、大人の利用には数百円の費用負担を求めるなど有料のケースが多いです。宿題を見てもらったり、遊びを教えてもらったりして交流し、いろんな世代の価値観に触れることができます。このように最近では地域交流の場としての役割も強まっています。

運営者
NPO 法人、
一般社団法人、
主婦、大学など



子ども食堂の役割

- 子どもが1人で食事することを防ぐ
- 手作りの温かい食事が食べられる
- 貧困家庭の子どもだけでなく、高齢者や保護者など多様な人が利用できる食堂が増えており、さまざまな価値観に触れられる
- 地域交流の場

料 金

無料〜数百円程度

開催場所

公民館などの公共施設、お寺、教会、個人宅、休業日の飲食店など

不測の事態に備え保険に加入すると安心です。食材は寄付もあります。自己負担していても、資金繰りが厳しい食堂があるのも事実です。理解を広げ、自治体や地域ともしっかり連携する必要があります。

2018年5月19日朝刊総合面(記事は再編集しています)

①「子ども食堂」とは何ですか。記事を参考に書きなさい。

②「子ども食堂」ができた背景には、日本が抱えるどのような課題がありますか。考えて書きなさい。